

スクールソーシャルワーク論

[講義] 第3学年 前期 選択 SSW必修 2単位

《履修上の留意事項》遠隔授業のみ実施

《担当者名》福岡 麻紀

【概要】

本科目は、学校教育現場における、不登校、非行、発達障害及び貧困などの子どもたちを取り巻く問題状況と課題を理解し、それらの課題に対するスクールソーシャルワーカーの取り組みについて学ぶ。具体的には、児童生徒の問題行動の実態、学校教育現場の理解、スクールソーシャルワークの展開や支援の方法、基盤となる価値や倫理について、スクールソーシャルワークの実践対応について学ぶ。

【学習目標】

1. 教育と福祉の連携の必要性をとらえるために、学校教育現場にソーシャルワークが導入された背景について理解する。
2. スクールソーシャルワークの利用者を理解するために、子どもや家庭の置かれている状況やニーズ、課題を知る。
3. スクールソーシャルワークの基盤を実践に適用するために、目的や価値に基づいた具体的な支援方法を考えて述べる。
4. スクールソーシャルワークにおける社会資源の活用方法を理解するために、その知識を具体的な事例に応用する。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	スクールソーシャルワーカーとは	学校にソーシャルワーカーがいる意味。 子どもを取り巻く問題と子どものニーズ。	福岡
2	学校における子どもの理解 1	不登校の実態とその背景を説明できる。	福岡
3	学校における子どもの理解 2	暴力行為・非行の実態とその背景を説明できる。	福岡
4	学校における子どもの理解 3	いじめ問題の実態とその対応について説明できる。	福岡
5	学校における子どもの理解 4	子どもの貧困問題の実態とその背景を説明できる。児童虐待、発達障害の実態とその背景を説明できる。	福岡
6	スクールソーシャルワークの目的と価値 学校教育現場の理解	・スクールソーシャルワークの目的と価値・倫理について説明できる。 ・子どもの人権について説明できる。 ・学校の仕組み・教員の職務について理解し、教師とスクールソーシャルワーカーの接点について説明できる。	福岡
7	スクールソーシャルワークにおける社会資源の活用	スクールソーシャルワーカーが活用する社会資源の特徴と役割について説明できる。	福岡)
8	スクールソーシャルワークの実践 1	貧困状態にある子どもや家庭が抱える困難について、子どものいじめの事例を用いて体験的に理解する。	福岡
9	子どもの貧困について (課題提出)	8回目の講義に関連する動画を視聴し、レポートを提出する。	福岡
10	スクールソーシャルワークの発展過程	アメリカや諸外国及び日本におけるスクールソーシャルワークの歴史的発展経過を説明できる。	福岡
11	スクールソーシャルワークの実践モデル	スクールソーシャルワークの実践過程と実践モデルを理解する。	福岡
12	スクールソーシャルワークの実践 2	非行・発達障害・児童虐待に対するスクールソーシャルワークの実践を理解する。 課題	福岡 梶原敦(特別講師)
13	スクールソーシャルワークの実践 3	スクールソーシャルワーカーの実践と他職種との連携について理解する。 課題	福岡 伊藤忍(特別講師)

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
14	スクールソーシャルワークの実践 4	活動の場である学校についての理解を深め、学校との協働によるスクールソーシャルワークの実践を理解する。 課題	福岡 古原祥子（特別講師）
15	スクールソーシャルワークの実践 5 まとめ	貧困状態にある生活の実際について、家計管理のワークを用いて、貧困家庭の実情を体験的に理解する。 スクールソーシャルワークの課題と今後の展望	福岡

【評価方法】

レポート（70％） 課題レポート ～ （30％）

【備 考】

教科書 ： 使用しない。教員が作成するレジュメに従って学習する。参考文献等については、その都度、紹介する。

参考書 ： 日本学校ソーシャルワーク学会編「スクールソーシャルワーク養成テキスト」中央法規（2008）

その他 ： 教職課程では「大学が独自に設定する科目」に該当する。スクールソーシャルワーク教育課程では専門科目群「スクール(学校)ソーシャルワーク論」に該当する。

【学習の準備】

- ・ 予習として、スクールソーシャルワークに関連する報道について日頃より関心をもってチェックし、報道に対する自らの見解を持つように努めること。また、次回の授業テーマに関する、教員が指示した内容について事前に調べてくること。（80分）
- ・ 授業後は要点を整理し、分からない点は自分で調べるとともに、次回の授業までに担当教員に確認すること。（80分）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,1,4

【実務経験】

社会福祉士

【実務経験を活かした教育内容】

スクールソーシャルワーカーとしての実務経験を活かし、貧困、児童虐待、不登校、いじめ、非行などの子どもを取り巻く状況が複雑化・深刻化している現状において、学校や専門機関と協働して問題解決に取り組む上で求められる理念と知識、方法、その他具体的な実践について講義する。